

2010年度

第7回

小学生のぼうさい探検隊
マップコンクール

入選作品集



この「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」も、今回で7回を数えます。2010年度も47のすべての都道府県からご応募をいただき、作品数も1,607点と過去最多となり、この活動が全国に根付いてきたと実感しております。また、回を重ねるごとに質の高い素晴らしい作品が増えており、どの作品からも、子どもたちが楽しみながら生き活きと活動している様子が目に浮かんできます。

さて、近年は世界各地で地震をはじめとする大規模災害が頻発しております。2010年2月に発生したチリ地震では、日本でも大津波警報が各地に発令され、実際に太平洋側の各地で津波も観測されました。地球の反対側で起きた地震が日本にも影響するという事は、小学生の皆さんにとっても大きな驚きだったのではないのでしょうか。

損害保険は、こうした災害や事故によって生じた経済的な損失を補償することで、「安心」と「安全」を皆様にお届けしています。

しかし、災害は遭わないに越したことはなく、被害を抑止・軽減するためには、行政、地域社会、国民一人ひとりが防災・防犯・交通安全に対する意識を高め、備えることが重要です。

日本損害保険協会では、「向きあう ふれあう 支えあう 損害保険 ～地域と共にチャレンジ～」というスローガンのもと、地域で行われている防災・交通安全活動への参加や消防自動車の寄贈など、安全・安心な地域社会づくりに向けた様々な活動を行っております。この「ぼうさい探検隊」は、子どもたちの好奇心や行動力が起点となって地域全体の防災意識・防災力を高めるものとして、特に普及に力を入れている活動の一つです。

2011年度から実施される小学校の新学習指導要領には、安全教育に関する内容の充実が図られております。

こうしたなか、「ぼうさい探検隊」の活動を通し、子どもたちが実体験の中で「くらしの安全・安心」を学んでいくことは、今後ますます重要になってくるものと思われまます。

また、「ぼうさい探検隊」の活動は、参加した子どもたちが防災・防犯・交通安全について学び成長することはもちろん、サポートしていただいたボランティアの方々、地域の皆さん等、多くの方々とのコミュニケーションの活性化にもつながります。地域の安全・安心意識の高揚に役立つだけでなく、わがまちへの愛着や誇りが育まれる、という効用もあると思っております。

この入選作品集は、文部科学大臣賞をはじめとする入賞7作品と審査員特別賞の8作品をご紹介しますことで、子どもたちの「気づき」や、安全な地域になってほしいといった「願い」を多くの方に知っていただきたく作成いたしました。

応募作品の中には、子どもたちが作ったマップをもとに地域へ提案を行い、結果として地域の危険箇所が改善され、子どもたちが「すぐに改善対応をしてくれてうれしかった、おかげでこのまちがもっと好きになった」という感謝の気持ちを持った、といった報告もいただいております。このように、実際の改善だけでなく、子どもと大人の温かい気持ちの交流が各地で生まれ、それが全国に広がっていることを、心からうれしく、また心強く思う次第です。ぜひこうした展開へのヒントとして、この入選作品集をご活用いただければと思います。

最後に、この活動にご賛同いただき、惜しみないご協力を賜りました政府機関、関係団体の皆様方、マップコンクールにご参加をいただいたすべての皆様に、改めてお礼を申し上げます。

2011年2月
社団法人日本損害保険協会
会長 鈴木久仁

主催

社団法人日本損害保険協会／朝日新聞社／ユネスコ／特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク

後援

内閣府／総務省消防庁／文部科学省／警察庁／全国都道府県教育委員会連合会／アジア防災センター
社団法人日本ユネスコ協会連盟／日本ユネスコ国内委員会



Contents

第7回 小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール

表彰式	2～3p
審査の様子	4p
審査総評	5p
入選作品紹介	6～23p
応募状況	24～25p



表彰式

2011年1月22日(土)、損保会館2階 大会議室において、第7回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式が行われました。



プレゼンター、入賞校・団体の代表児童、指導された担当者の方々と一緒に記念撮影



文部科学大臣賞を受賞した「蔦淵(こもぶち)キッズ5(ファイブ)」代表児童の濱田さん



防災担当大臣賞を受賞した「安楽島(あらしま)キッズ探検隊」代表児童の浦田さん



消防庁長官賞を受賞した「目黒消防少年団ぼうさい探検隊」代表児童の満所さん



まちのぼうさいキッズ賞を受賞した「みつばち防災探検隊」代表児童の中井田さん



未来へのまちづくり賞を受賞した「カブスカウト隊」代表児童の小野寺さん



わがまち再発見賞を受賞した「つじっ子防災探検隊」代表児童の高屋さん



ぼうさい探検隊賞を受賞した「コスモスロード」代表児童の佐藤さん



代表児童および指導者のみなさんへインタビュー

主催者代表挨拶



社団法人日本損害保険協会 会長 鈴木久仁

審査総評



審査員長 室崎益輝氏
(神戸大学 名誉教授/関西学院大学 総合政策学部 教授)

閉会挨拶



朝日新聞 ゼネラル・マネジャー兼東京本社報道局長 杉浦信之

ホワイエ展示



展示作品の前で「ハイ、チーズ!!」

審査の様子

全国47都道府県の小学校や子ども会など317校・団体から1,607作品もの応募があり、厳正なる審査を重ねた結果、入選15作品を決定しました。

第一次審査の様子



全体的な傾向

- 地域独自の災害や危険の特性をとらえ、それらを想定した地域性のある作品が増えています。また「なぜこのマップを作ったのか」「誰に見て欲しいか」といったことを明確に打ち出した作品が増えています。
- 作成したマップを使って発表や討論会を行うなど、安全意識の向上につながる活動へと発展しているほか、地域の方へのインタビューなどを積極的に行うことで、社会性の強化や大人たちとの双方向コミュニケーションの活性化にも役立っています。
- 過去に作成したマップを参考にしながら、それらを用いた提言により実際に危険箇所が改善されたかを検証している作品もあり、児童からの提案が行政等に受け入れられ、改善につながるという好事例も増えてきています。
- 実施の段階から、地域の行政や自主防災組織などと連携して取り組んでいる作品も見受けられ、提案性の高い事例となっています。

地域性・学年別・テーマ別の傾向

- 全国47都道府県から幅広く応募いただきました。県別の応募団体数では、東京都(60校・団体)が最も多く、次いで沖縄県(31校・団体)、岩手県・埼玉県(ともに12校・団体)、茨城県・大阪府(ともに11校・団体)となっています。
- 学年別に見ると4年生が最も多く、次いで3年生となっています。なお、複数の学年で活動する事例が増えており、全体の半数以上は学年混成チームとなっています。
- テーマ別に見ると「防災」が最も多く、次いで「防犯」「交通安全」の順となっています。複数のテーマで実施している作品も多く見受けられました。

本審査の様子



むろさき よしてる
室崎 益輝 氏
神戸大学 名誉教授／関西学院大学 総合政策学部 教授 (審査員長)

ながおか よしたか
長岡 佳孝 氏
文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課 安全教育調査官

なかほど のりよし
仲程 倫由 氏
内閣府 政策統括官 (防災担当) 付参事官 (災害予防担当) 付企画官

よこた しんじ
横田 真二 氏
総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課長

みなみ てつひと
南 哲人 氏
文部科学省 国際統括官付日本ユネスコ国内委員会事務局 ユネスコ協力官

むろ た やすこ
室田 康子
朝日新聞社 お客様本部長

てらもと ひろのぶ
寺本 弘伸
特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事

しかま たかし
志鎌 敬
社団法人日本損害保険協会 常務理事

本審査員

審査 総評

ぼうさい探検隊の 「広がり」と「深まり」



審査員長 むろさき よしてる 室崎 益輝 氏

神戸大学 名誉教授 / 関西学院大学 総合政策学部 教授

今回の審査の中では、特に2つの点、この活動の「広がり」と「深まり」を強く感じました。いくつか例をあげてご紹介したいと思います。

ぼうさい探検隊の「広がり」

まず1つ目の「広がり」についてです。

今回も全国各地で1万人を超える児童が参加していることが何よりも素晴らしく、とても心強いことだと思います。また、この活動は子どもだけではなく多くの大人にも参加・支援いただいていますから、実際に参加した方の数はその数倍、数万人にも及ぶわけです。全国にこの活動が広がって、多くの方が実践されている、そのことにまずは「ありがとう」とお礼を申し上げたい気持ちです。

全ての作品に「ありがとう」

何年もこの活動を継続している、いわば「常連の学校・団体」も出てきています。継続することで、まちなか探検やマップ作りのノウハウが蓄積されていきますから、これも素晴らしいことです。ですが、こうした「常連校」よりも素晴らしい作品を作ることが一番の目的なのではなく、それぞれの学校や団体の皆さんが自分たちで手探りしながら一生懸命に考えたこと、それ自体が本当に素晴らしいことなのです。

今回の応募作品は1,607点ですが、入選された15作品だけでなく、その他の1,592作品にも、全てに大きな価値と効果があります。審査員長として、これら1,592作品の一つ一つに対しても、同じく「ありがとう」と心からお礼を申し上げたいと思います。

ぼうさい探検隊の「深まり」～気づきの重要性～

2つ目の「深まり」については、3つのポイントがあります。まず「気づく」こと、次に「学ぶ」こと、最後に「行動する」ことです。

「気づき」という点では、回を重ねるごとにテーマがどんどん深くなり、小学生のレベルをはるかに超えている、大学生でもかなわないというほど深く掘り下げて調査している作品も増えてきました。とてもすごい成果です。

一方で、最初は特にテーマを意識せずに始めたが、その中で思わぬところに気づくというように、「素直な

気づき」が出てくることも非常に大事です。いろいろなことを調べて学ぶうちに、当初は予想もしていなかった「人と人との支えあい」に結果として気づいた、という作品もあります。地域の特産品など「自慢できる地域の特長」に気づいた作品もあります。

このように、最初にテーマを決めて深めていくのも良いですし、無心になって素直な目で地域を見するという手法も大事な視点だといえます。

ぼうさい探検隊の「深まり」～学びの進化～

「深まり」の2つ目、「学び」という点では、インタビューや図書館などで過去のことを調べて学ぶといった作品が増えてきています。今回、特に感じたのは、これらの調査に加えて「自分たちで話し合うことで学ぶ」という点が目立ったことです。地域の安全や安心は自分自身に関係すること、だから自分たちで考えようというのは、安全教育や地域防災の原点ですね。これはまさに、「子どもたちの学びが、どんどん進化している」ということだと思います。

ぼうさい探検隊の「深まり」～行動の積極化～

「深まり」の3つ目、「行動」ということについては、今回、特に印象深い点でもあります。調べたことを行政に提案する、地域の人に周知するといった行動に加えて、「子どもたち自らが、自分にできることをやる」という例が増えてきています。まちなか探検のついでにゴミも拾おう、草刈りをしよう、AEDを使ってみよう、危ないところにロープを張ろう、自分たちで通学路を決めようというように、子どもたちが積極的に、また自主的に行動しているわけです。

大人に要望するだけではなく、自ら気づき学んだことを活かせる子どもたちが増えてきている、これは本当に大きな、素晴らしい進化といえます。次回はどんな提案や活動報告が出てくるのか、本当に楽しみです。

ぼうさい探検隊の発展と拡大を願って

毎回、どんどん新しい「進化」が生まれてきていることに驚かされると同時に、次の世代を担う皆さんにこの活動が広がっていることが本当に頼もしく、嬉しいことだと感じます。

ぜひ次回も多くの方々にご参加いただけるよう、心から願っています。



文部科学大臣賞

こもぶち
愛媛県宇和島市立蔭淵小学校

6年生
5名

テーマ

防災

こもぶち
ファイブ
「蔭淵キッズ5」

選考基準

防災教育に対する学習意欲が感じられ、かつ仲間との協調性が感じられる作品



評価
された
ところ

- 台風被害の様子を実測したり、雨量計を自作して観測したりと、地域の特徴をよくとらえ、明確なテーマで活動している。
- 過去の被災者や当時の災害現場調査など、調べ学習が充実している。独居者への声掛けなど、子どもたちの思いやりも見える。
- 写真の使い方もうまく、地域の規模がよくわかる。皆で防災について考えようという意識も伝わってくる。



工夫点

- 高潮に注意してほしい場所は、地図に色づけをするだけでなく、写真でわかりやすくした。
- 独居者の家や聞き取り結果をシールで表示し、見やすくなるよう文字も工夫した。
- 川という意識がなかった場所の探検、手作りの雨量計の活用、砂防学習会など、活動したことをわかりやすくまとめた。

提言

- 海へ投げ捨てられたゴミが川に流れ込み、大水が出たときの障害の一つになっていることに気がついた。ゴミを投げ捨てないよう、地域に呼びかけたい。
- 避難場所への通路にも危険が多い。古い建物に網を掛けたりしているが、地域全体で取り組まなければいけないのではないかな。
- 独居者が多いので、災害時や避難時の声かけなど、自治体としての動きや自分たちにできることを考えていきたい。



地域の方へインタビュー

子どもたちの感想

- 大潮のとき、手が届くところまで潮が来ていて、土地の低いところに住んでいることを実感した。今まで気に掛けてこなかった自然災害について、よく考えるようになった。
- 地域探検が楽しく、インタビューなどを通してこれからの生活に役立つことが多くわかった。
- 発見や気づきを地図にまとめるのは楽しかった。仕上がった地図を見て、満足感でいっぱいになった。



「蔦淵キッズ5」のみなさん

担当者の感想

- 住んでいる地域を知るということの大切さを改めて感じた。また、子どもたちが自分たちの足・目・耳で地域を探検することの意義を皆で共有し、学校教育の中に位置づけるよう計画を見直していきたい。
- 南海地震・東南海地震のことさえ知らずにいた子どもたちが、この活動を通して、非常持ち出し袋の設置を家族に要望するなど、自分たちにできる防災への取り組みを意識するようになった。「自分の身は自分で守る」を合言葉に、避難訓練や防災学習への取り組み姿勢が積極的かつ意欲的になってきた。

入選者 喜びの声

VOICE



マップ作りが楽しかったです。地域探索などで地域に出かけることが多く、地域の方々これまで以上に接することができて、とてもうれしかったです。5人で悩みながら協力して仕上げたマップが受賞して、最高です！
(濱田 雅史さん)



初めての取り組みでしたが、自分たちの思いや地域への願いをもって活動した子どもたちは、「防災」をしっかりと意識するようになりました。防災学習を推進している本校にとって、次につながる受賞だと皆で喜んでいます。
(橋本 眞理子さん)



防災担当大臣賞

あらしま
三重県鳥羽市安楽島子ども会

2・4・6
年生
6名

テーマ
防災

あらしま
「安楽島キッズ探検隊」

選考基準

地域の防災意識向上につながる作品、地域住民の防災対策に役立つ作品



評価
された
ところ

- 過去のマップで指摘した地域の危険について、改善された箇所とそうでない箇所を比較するなど、継続性が伝わってくる。
- 子どもたちに触発されて大人たちも防災マップの作成を始めるなど、地域の意識が変わってきていることがわかる。
- 写真の中に、手すりがない場所や海拔の表示などの書き込みがあり、どれも的確な内容で非常にわかりやすい。



工夫点

- 過去のマップの写真と今回探検した写真とを並べ、ビフォー&アフターで違いがわかるようにした。
- 電柱の「海拔0メートル」の表示をもとに「海拔5メートル」ラインを書き、一目でわかるようにした。
- 過去より「良くなった所」を緑色、「直っていない所」を赤色、「再発見・その他」を黄色に分けてわかりやすくした。

提言

- 避難路の草刈りや消火栓のふたの掃除は、子どもにもできそう。地元の方と協力してできたらいいと思う。
- 避難路は急坂なので、手すりを設置して、お年寄りでも登りやすくしてほしい。
- 避難する時、体の不自由な人やお年寄りの手助けを地域全体で話し合った方がいいと思う。
- 地域の半分以上が海拔5メートル以下で、防災倉庫の位置も含まれるので、高い所へ移動した方がいいと思う。



気づいたことをメモしておこう

子どもたちの感想

- これまでの活動の話を聞いたり、マップを持って探検した。そのため、直っているところや、まだ直っていない所がわかりやすかった。
- 堤防が補強修理されていたり、放水ホースが2ヶ所一本増えていたり、先輩達作った「ぼうさいマップ」が役に立っていると思った。
- 日頃は気につかない電柱の「海拔0メートル」の印の意味がよくわかった。この印をもとに書いた「海拔5メートル」のラインを地域の大人にも見てほしい。



「安楽島キッズ探検隊」のみなさん

担当者の感想

- 今回で6年目となり、続けていることで秋の行事として根付いている。大人を巻き込んでの防災意識向上も実感している。
- マップをもとに提案した場所が実際に改善されると子どもたちの励みになり、より防災への関心が高まると感じる。
- 子どもたちから避難路の草刈りや消火栓の掃除の提案が出たり、避難路のお年寄りや体の不自由な方への気遣いなどのアイデアが出て、驚かされると同時に感心させられた。こうしたアイデアは、自治会や自主防災会に相談したいと思う。

入選者 喜びの声



今までのマップをふり返ると、もう改善してある所や、まだ直っていない所がありました。町の人から「防災マップで改善された所もあるんやよ。」と聞いて、マップがみんなの役に立っているんだなあ、とうれしくなりました。(浦田 小夏さん)



お兄さん、お姉さんの作業を訳もわからず見ていた世代が、当時のことを振り返る内容で受賞することになりました。町を見る目もずいぶん成長してきました。子ども達の視点が町の財産になってきたと実感しています。ありがとうございました。(中村 欣一郎さん)



消防庁長官賞

東京都目黒消防少年団

「目黒消防少年団ぼうさい探検隊」

1・3・4
年生
6名

テーマ

防災

選考基準

消防の施設、設備がしっかり調べられ、災害発生時の被害軽減に役立つ作品



評価 された ところ

- 自転車が邪魔で消火器が使えない、交通量の多い道路があるなど、東京の都心ならではの課題が盛り込まれている。
シンプルな構成で目の付け所の良いマップといえる。
- 写真の構図や撮り方が良く、見てきたことや調べたことがそのまま伝わってくる。
- 凡例を見やすく表示しているため、マップの内容が非常にわかりやすい。



工夫点

- 一人ひとりがチェックポイント(消火器や危険な場所など)にマークをして、種類ごとに丸シールの色を区別してわかりやすくした。
- 消防おりがみやシール、まちなか探検で撮った写真を使ってマップを華やかに彩った。
- 探検したときの気持ちや、防災に対して抱いた想いをふきだしてマップに記入した。

提言

- 高いブロック壁、災害時崩れそうな場所など、身近にある危険な場所には近寄らない。
- 交通量が多い道では、歩くときに注意をする。
- 火事になったら、地域にある消火器を使って消火のお手伝いをする。
- 坂道や高い壁がたくさんあることがわかった。



地域の方々にもご協力いただきました

子どもたちの感想

- 消火器が思ったよりたくさんあった。消火栓や防火水槽もたくさんあることに気づいた。
- 災害時の集合場所が公園や学校だということがわかった。
- 「備蓄倉庫」という倉庫があって、そこに火を消す機械(ポンプ)や食糧があることが分かった。
- まちなか探検はとても楽しかった。



「目黒消防少年団ぼうさい探検隊」のみなさん

担当者の感想

- 今回、小学生と中学生が協力して実施してみたが、この形式も良いと思った。
- 指導者や保護者のほか、地元町会の皆さんにもご協力いただいた。地域に精通した方々が同行することによって、さまざまな着眼点や危険箇所にも気づくことができ、交通事故防止の点なども心強く実施できた。
- 街頭消火器など、地域には災害対応器具が想像した以上にたくさんあることがわかった。
- 子どもたちは皆、探検していくうちに徐々に意識が高揚していき、興味を持って活動していた点が大成だったと思う。

入選者 喜びの声

VOICE



私たち消防少年団が作った防災マップが入賞と聞いて、とびあがってしまうほどよろこびました。これを作る時にみんなで、こんなふうにくふうしたら入賞するかな、と気持ちを合わせて作れました。とってもうれしいです。(満所 姫都美さん)



目黒消防少年団の皆が探検を通し防災意識を高め助け合い、模造紙に込めた想いが受賞につながったと思います。消防署や地域の方々の温かい協力と共に完成したマップが、少年団の子ども達を通して防災の輪を広げていければ素晴らしいと思います。(青木 茂さん)



まちのぼうさいキッズ賞

(ユネスコ提供)

かわらまち
福島県相馬市川原町児童センター
「みつばち防災探検隊」

2・3年生
10名

テーマ
防災
防犯
交通安全

選考基準

地域の情報を細かく取材し、子どもたちによる独自の提案が見られる作品



評価されたところ

- 発泡スチロールやモールを使って目印を立体的に作っており、地図情報としてわかりやすい。
「歩いて10分程度の距離を探検した」という表記も、地域の規模をうまく表現しており、情報が満載という印象を受ける。
- 「安全なポイント」として、街灯や防犯カメラなどの設備に加えて「送り迎えしてくれる父母の目」といった気づきがある点も良い。
- 子どもたちの提言も、しっかり盛り込まれている。



工夫点

- 犯罪や災害が起こりそうな場所だけでなく、未然に防ぐ効果のある街灯や防犯カメラ、実際に災害が起きた時に避難できる場所など、安全なポイントもマップ上に盛り込んだ。
- 建物は発泡スチロール、街灯などはモール、茂みは指編みで編んだ毛糸で作るなど、立体的なマップになるように工夫した。また、危険ポイントや安全ポイントもシールで区別し、番号を書いたシールを貼ってわかりやすくした。

提言

- 「止まれ」の標識がグラグラしていたので、市の人に教えてあげよう。
- 子ども110番の家がないので、近くに住んでいる方が手を挙げてくれると嬉しいと思う。
- 木の茂みは隠れやすい場所になってしまうので、刈ってもらいたい。
- 石の塀やブロック塀は、地震の時に危ないので、垣根にしてほしい。



この場所は狭くて通りにくいね

子どもたちの感想

- 空き家が思ったよりたくさんあるので、近づかないようにしたい。
- 隠れやすい所は危険な場所なんだとわかった。
- 地震の時は、石の塀やブロック塀には近づかないで、幼稚園の駐車場に逃げれば良いと思った。
- 危ないので、これからはふざけて歩かないようにしたいと思った。



「みつばち防災探検隊」のみなさん

担当者の感想

- 距離は短い通学路だが、実際に探検して、犯罪や事故が起きそうなポイントを子どもの目線で見つけることができた。
- 空き家には近づかないこと、下校はみんなで一緒にといったことを再確認した。また、現在の通学路の途中に見通しが悪い交差点があるので、「違うルートの方が安全なのでは？」という意見が出て、実際に歩いてみたりもした。
- 子どもたちは、危険な箇所だけではなく安全な場所もあること、見守ってくれている保護者や先生方の気持ちも感じてくれた。自分の身は自分で守るという意識も、より高まったように感じる。

入選者 喜びの声

VOICE



先生から「マップが入賞したよ」と言われた時、自然に拍手がおこりました。みんなで気づいたことを話し合っ工夫したマップだったので、とてもうれしかったです。気づいたポイントに気をつけながら通学したいと思います。(中井田 麗杏さん)



久しぶりの受賞で、子ども達はもちろんのこと、私共もうれしさでいっぱいです。このたびのマップ作りを通して、交通安全だけではなく防犯・防災の意識も高まったように思います。ありがとうございました。(永井 清美さん)



未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団
「カブスカウト隊」

3~5
年生
11名

テーマ
防災

選考基準

地域の特徴や防災に関する情報が第三者にもわかりやすく表現されている作品



評価
された
ところ

- テーマを「AED」に絞り、各設置場所での使用可能時間帯や持ち運べる範囲を調べるなど、テーマが深く掘り下げられている。アイコンの工夫も視覚的に見やすく、地図情報としてわかりやすい。
- AEDの使い方を実際に学んだり、各自の家庭で宿題として考えてくるなど、子どもたちが主体的に活動している点がよくわかる。
- マップをチラシにして地域に配っている点などからも、子どもたちの積極性がうかがえる。



工夫点

- スカウト集会で「AEDとは何か」を勉強し、消防署の方にもお話を聞いた。家族でも宿題としてAEDの勉強を行った。
- 草加市の南部地域を歩いて様々な人にインタビューし、気づきや疑問を市役所と消防署に質問した。その際、救命処置について、実習で習ったことも盛り込んだ。
- 調べっぱなしにせず、疑問点は確認して1人でも多くの市民にフィードバックすることを、活動の最初から最後まで徹底した。

提言

- AEDを知っている人は、ほとんどいなかった。そのため、市役所や消防署に対して、もっと市民に知らせて欲しいと提言した。
- 交番には絶対にAEDがあるはずと思っていたが、設置されていないところもあった。そこで、消防署に対して、警察等にもAEDを設置してもらうよう約束してもらった。
- 地域の人は、AEDがどこにあるかほとんど知らなかった。そこで、自分たちが作ったAEDマップをお祭りで市民に配布し、場所を知ってもらうことにした。



AEDの使い方を実際に体験

子どもたちの感想

- おまわりさんへのインタビューは緊張したが、AEDが交番にないことに驚いた。
- 最初はAEDについてさっぱりわからなかったが、自分たちで調べたり、家族で調べたら少しわかるようになった。
- インタビューをしていて、AEDについては自分たちの方が大人よりよく知っていたので、自慢したくなった。

担当者の感想

- 当初はAEDというテーマは難易度が高いのでは思ったが、4月から10月まで段階を踏んで活動することで、だんだんと理解が進んでいくのを見て取れた。
- 様々な人々にインタビューしたことは、大人とのコミュニケーショントレーニングとしても有意義だった。また、大人がいかにかAEDについて知らないかがわかったことで、多くの人に知らせようという意欲が高まったように感じる。
- 市がAED配備に積極的であることがわかり、子どもたちはとても誇らしげだった。また、大人もなるほどと感心するような質問も出てきて、子どもたちの感性の鋭さに驚いた。



「カブスカウト隊」のみなさん

入選者 喜びの声

VOICE



去年は審査員特別賞、今年に入賞に選ばれて本当にビックリしました。AEDが町のどこに有るのかとても勉強になったし、仲間と協力して作成したので、とてもいいマップが出来上がったと思います。頑張って良かったです。(小野寺 悠太さん)



難しいAEDというテーマに対し、家族との会話や市民へのインタビューを通して、各人が命の大切さを徐々に考えていくようになりました。行政の協力を得て作成したマップは作りっ放しにせず、AED普及に貢献していきたいと思います。本当にありがとうございました。(濱田 真輔さん)



わがまち再発見賞

(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

滋賀県高島市マキノ町地区子供会
「つじっ子防災探検隊」

1~6
年生
8名

テーマ
防災
交通安全

選考基準

地域の災害の特性を理解し、地域への関心や愛着が感じられる作品



評価
された
ところ

- 熊・猪・猿などの動物が地域特有の危険として出てくるなど、地域性が伝わってくる。
- 川に落ちないように自分たちでロープを張ったり、消火器や消防ホースを扱ってみたり、炊き出し体験をしたりと、さまざまな実践を行っていることがわかる。
- ただ歩いた、マップを作ったというだけで終わらずに、自分たちにできる対策や実体験が随所に盛り込まれている。



○12軒の小さな集落であるが、危険な場所や地域住民の人となりなど、小学生にはわからないことがたくさんある。そのため、集落内の方々とのコミュニケーションをはかるとともに、活気のある明るく住みやすい集落にしていくことを目的とした。

工夫点

○凡例の部分の工夫や、以前に実施した2泊3日の防災訓練の様子を盛り込んだ。あわせて、災害時の救助に関することなどを「防災伝言板」としてインタビューでまとめ、どうの方が地域に住んでいるかをわかってもらえるよう工夫した。

○樹木が剪定されていないところがあり、特に交差点の付近は危険なので、きれいにする必要がある。

○道路の「止まれ」の表示が消えかけているので、新たに引き直してほしい。

○お寺(集会場)にタンカなどが入れてあるが、古いお寺なので地震のときに倒壊する可能性がある。物置などに移動すべきではないか。

○年齢が1年生～6年生まで幅広かったので、歩くペースも難しかったし、2時間も歩いたので疲れた。でも、通学路ではない道も歩いたので、新鮮な感じがしておもしろかった。

○電柱が折れたり、電気や水道がストップしてしまうと大変だと思った。

○クマが出そうで怖かったが、いろいろな危険があるとわかった。また、サルなどから作物を守るために、電柵などの工夫が集落内にあることがわかった。

○防火水槽のマンホールの下に水があることや、仕事で使う車が人命救助にも役立つことなどもわかった。

○実際に子どもたちと集落を歩いて一周してみると、今まで見えていなかったことにハッと気づくことがあった。

○探検をしている最中、近くの交差点で事故があった。車が横転している所を実際に見たため、子どもたちの記憶に強く残ったのではないかと。

○説明をしていたら、子どもたち同士で「書けなくなったら裏面に書こう」といった会話をしていた。休憩中に見ると、地図のイラストやマーク等が書かれており、しっかり説明を聞いてくれるのがわかって嬉しかった。



まちなか探検でのコマ

提言

子どもたちの感想



「つじっ子防災探検隊」のみなさん

担当者の感想

入選者 喜びの声

VOICE



入賞を聞いた時、信じられない気持ちとうれしい気持ちでいっぱいでした。これをきっかけに防災について知ることができて良かったです。これからは危険な所を改善してもらい、被害が少なくなるようにしていきたいです。
(高屋 友芽さん)



今まで見えていなかったものがこの活動によって見えたということがたくさんあり、集落を再発見することができました。今後もこつこつと安全安心をテーマに活動を続けていこうと思います。ありがとうございました。
(高屋 博之さん)



ぼうさい探検隊賞

(日本損害保険協会賞)

宮城県大崎市松山地域ぼうさい探検隊
「コスモスロード」

5~6
年生
10名

テーマ
防災

選考基準

地域の人々とのつながりおよび安全・安心への意識の高まりが感じられる作品



評価
された
ところ

- タイトル部分や全体の色使いから「地域の雰囲気」が伝わってきて、印象に残るマップとなっている。
- 写真から「何を撮りたかったのか」「まちなか探検をどのように行ったのか」といった点が、しっかり伝わってくる。
- 「まちの人たちから聞いた あれこれベスト5」の部分なども、よく調べていると感じられる。
バケツリレー・ランタン作り・サバイバル炊飯体験などもよくまとまっている。



工夫点

- 目標となる商店や公共施設の色を決めて、写真を多く活用しながら、地域に咲くコスモスをイメージして仕上げた。
- 子どもたちの独創性を活かすよう心がけた結果、良い作品に仕上がったと思う。

提言

- 非常用持ち出し袋を準備していない家庭がたくさんあった。
- 地震災害のトイレを避難場所に設置してほしい。
- 災害時に使える自動販売機を公共機関等に設置してほしい。
- 地域ごとにもっと自主防災訓練をして、防災力を高めるといいと思う。



みんなで一生懸命インタビュー

子どもたちの感想

- まちなか探検では、いろいろな人たちにインタビューをし、大事だと思うものを聞いた。インタビューの答えはそれぞれだったが、の中で特に多かったのが水や食料品だった。自分たちも、火事や地震が起きた時のために、災害の時に必要な物を備えておこうと思う。
- 今回学んだことは、ふだんから気をつけて守ろうと思った。

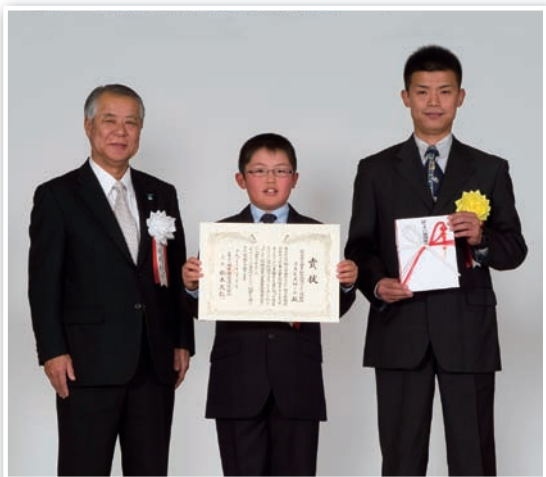


「コスモスロード」のみなさん

担当者の感想

- 通いながれた通学コースで、地域の人たちから話を聞き出したり、自ら危険な場所や災害時に使える水源を発見したりといった、地域密着の活動を行なった。
この「ぼうさい探検隊」は、日頃はお互いをあまり意識していない地域住民同士の「結団」に繋がるものでもあったと思う。
- 夏休みや休日に屋内で一日を過ごすよりも、外に出て大人とふれあったり、地域をもっと知ろうとする子どもたちの探究心が、活動を通して強く感じられた。
こうした経験こそが将来の糧となり、地域防災の担い手として防災力を発揮するのではないかと思います。

入選者 喜びの声



全国の応募作品の中からすばらしい賞を受賞できてビックリしました。とても暑い夏休みに、みんなと協力して防災マップ作りを行い、暑くて大変でしたが地域防災のことが勉強になりました。今回学んだことをいかして、災害の時はお互いに助け合いたいと思います。(佐藤 広崇さん)



地域防災の一環として、昨年に引き続き防災探検隊を結成し指導に当たりました。2年連続の受賞ということとなり、子供達の探検意欲や地域の協力が賞に結びついたと思います。宮城県沖地震を想定した中で、自分たちのまちは自分たちで守ろう！という防災意識が学習できたと思います。今回の受賞は子供達の励みになり、次の意欲にも繋がったものと喜んでいきます。ありがとうございました。(遠藤 博樹さん)



審査員特別賞

しらかた 茨城県東海村立白方小学校 「仲よし3人組」

4年生
3名

テーマ
交通安全



私たちの安全マップが、審査員特別賞をもらえると聞いたとき、すごくうれしかったです。危険な場所がどうしたら安全になるかをいろいろ考えたかがありました。危険な場所が少しでも減ったらいいと思います。(綿引 恵さん)



夏休みを利用して地道に調査したこと、学校の移転により、そのため2年に渡る調査であったことなどが評価され、たいへんうれしく思います。このマップにより、安全の意識が更に高まることを願っています。(岸 善信さん)

評価されたところ

- マップ作成の目的が「小学校の移転に伴い、新通学路を決めるため」と明確で、マップをもとに子どもたちが自ら通学路を決めている点からも主体性が感じられる。
- 昨年度と同じ場所を再調査して写真で比べており、変化がわかりやすい。
- 子どもたちの視点で感じた危険箇所を行政に提言し、実際の改善につながっている。また、更なる要望も提案するなど、継続学習の強みが出ている。

かなづ 福井県あわら市金津小学校 「金津っ子7」

5年生
7名

テーマ
防災
防犯
交通安全



私たちの作った安全マップが審査員特別賞に選ばれたと聞いて、とてもうれしかったです。今回の探検で、地区のいろいろな安全対策がわかりました。マップを作るのはたいへんでしたが、仲間と作るのは楽しかったです。(江口 加奈子さん)



まちなか探検では消防署の方たちと一緒に歩き回り、安全対策についていろいろなことを知ることができました。マップ作りでは、7人が集まる時間を確保するのがたいへんでしたが、子どもたちは意欲的に取り組みました。(島田 敏美さん)

評価されたところ

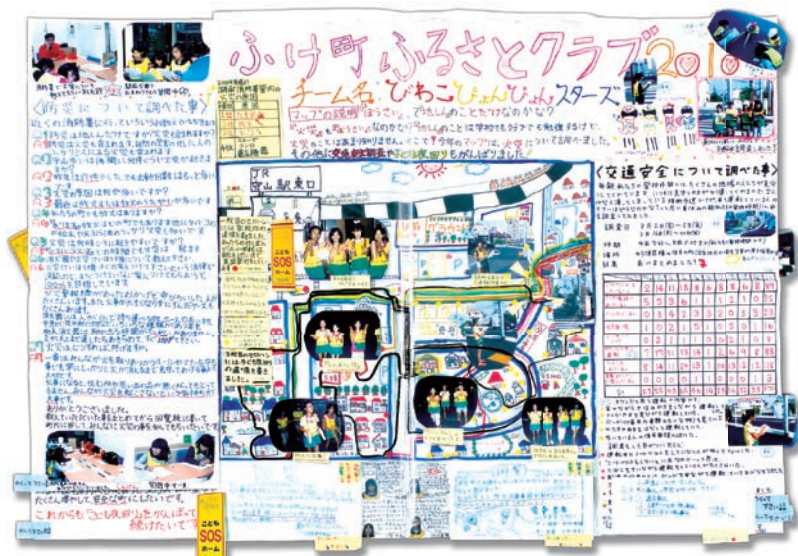
- 福井の震災について、被災者の体験談を聞き取り調査するなど、調べ学習を丁寧に行っている。
- 交番や消防団など複数の場所でインタビューを行っている点が良い。インタビューした内容に基づき、子どもたちの感想をそれぞれ盛り込んでいる点からも、学習効果の高さを感じられる。
- マップがすっきりしていて、全体的に見やすい構成となっている。



滋賀県守山市ふけ町ふるさとクラブ「びわこぴよんぴよんスターズ2010」

5年生
4名

テーマ
防災
防犯
交通安全



たくさんのグループが応募した中から入選したと聞いてとても喜びました。ギリギリで大変だったけどいいに作れてよかったです。このマップを作る時、夏休みの朝に暑いなか交通安全調査をしてまとめたので、がんばってよかったなと思いました。マップ作りは調査していくうちに自分のためになって、とても勉強になりました。来年もがんばりたいです。
(三宅 由真さん)



毎日通る通学路は安全なのか？ そんな疑問から交通安全調査は始まりました。まとめた結果を交番に伝えて行き、おまわりさんからお褒めの言葉を頂きました。消防署では放火が多いと聞き、子ども夜回りをがんばりました。地域の内外でがんばった子ども達の活動が評価されてとてもうれしいです。ありがとうございました。
(長谷川 恭子さん)

評価されたところ

- 各項目の見出しがしっかりしているため、「何についてまとめた箇所か」がよくわかる。情報量の多さをうまく整理しており、一生懸命さが強く感じられる。
- 回覧を作成して、自分たちが調べたことを地域住民にも伝えている。
- 子どもたちが自ら夜回りを行いながら、SOS ホームとなってくれるよう近隣住民に働きかけを行っている点も素晴らしい。

大阪府吹田市立桃山台小学校「桃小安全キッズ」

3年生
6名

テーマ
防災
交通安全



初めてマップのためにインタビューに出かけた日に、いとこが産まれました。祖母があわててかけつけた時、転んで肋骨が折れました。その日は、特別な思い出の日になりました。そのうえ賞をいただけて、すごくうれしいです。
(小谷 莉世さん)



子ども達は街を探索し、インタビューをして地域のことを学びました。各自の特技を生かしてマップを完成させ、達成感も味わいました。貴重な体験ができる機会を与えていただき、感謝しています。受賞は望外の喜びです。
(小谷 信夫さん)

評価されたところ

- 自分たちの地域をまず理解しようという姿勢を感じる。防犯と交通安全という2つのテーマも明確で、マップの中にも反映されている。
- シンプルな地図表記ながら、住宅・団地・公園などの目印がきちんと配置されているため、地域の雰囲気が伝わってくる。
- 危険な場所に関するアイコン表示がわかりやすい。色鉛筆のタッチからも、3年生らしさが感じられる。



審査員特別賞

ちよのまち 和歌山県かつらぎ町丁ノ町児童館「ハッピーかつらぎっ子」

6年生
3名

テーマ
防災
交通安全



みんなでがんばった結果が、この審査員特別賞に選ばれてとってもうれしいです。防災マップを作ったおかげでいろんなことがわかりました。勉強にもなり、入賞したことがなによりうれしかったです。(三林 由果さん)



児童館で遊びの延長でマップ作りを行ったつもりでしたが、子ども達は好奇心旺盛で、とても熱心に取り組みました。頑張った結果にこんな賞が頂けて、とても嬉しく思います。ありがとうございました。(堤 奈緒美さん)

評価されたところ

- 果樹園の作物などが丁寧に書き込まれており、目印の少ない地域ならではのアイコンとしての役割を果たすと同時に、農業が盛んな地域というのどかな雰囲気も伝えている。
- 過去の災害など、「何を調べたか」がはっきりしている。
- まちなか探検の際にゴミもついでに拾い、児童館で分別を行うなど、子どもたちが楽しみながら一生懸命に活動した様子が見とれる。

とよら 山口県下関市立豊浦小学校「しものせきいしんたんけんたい」

1年生
5名

テーマ
防災
交通安全



みんなで楽しく作ったマップが選ばれて本当にびっくりしました。いっぱい歩いてへとへとになったけど、いろいろなことを調べたのでとてもおもしろかったです。また「ぼうさい探検隊」をしたいです。(小林 愛実さん)



1年生に防災への興味を持たせることと、維新発祥の地と言われている下関長府に愛着がわくように工夫しました。子どもたちから「いろいろな人がささえあう町」のタイトル名が出た時は嬉しかったです。「次のぼうさい探検隊はいつするの」という声に、大変勇気づけられます。ありがとうございました。(木原 健雄さん)

評価されたところ

- 1年生5名で作成しており、低学年ならではの一生懸命さがマップから伝わってくる。
- 事前学習として過去の災害などの事例を学んでおり、子どもたちの成長が伝わってくる。
- 史跡などもまわっており、「しものせきいしんたんけんたい(下関維新探検隊)」というチーム名からも、低学年の意識の中にも歴史の深い土地柄が浸透していることがうかがえる。



大分県高瀬少年消防クラブ「高瀬少年消防クラブ」

4年生
5名

テーマ
防災
防犯
交通安全



今までぼくたちは、何も知らないまま、通学したり遊んだりして生活をしていましたが、防災マップを作った事でぼくたちの住む町がどうなっているのがよくわかりました。すごい賞がとれてとてもうれしいです。(佐藤 尚紀さん)



防災や防犯は多くの人々の力で守られていることを子ども達にどれだけ伝えることができるのかと不安でしたが、子ども達は敏感に感じ取り、賞を頂けるような素晴らしい防災マップを作成した子ども達に拍手です。(金子 徹さん)

評価されたところ

- 病院や消防団のほか、民間企業や地域団体など、いろいろな場所で複数回の取材を行い、大きな吹き出しを使って上手にまとめて配置している。
- 色使いが良く、マップが見やすい。写真の構図や撮り方も上手く、地域の雰囲気が伝わってくる。
- 取材している時の子どもたちの様子が、写真からしっかり伝わってくる点も良い。

沖縄県那覇市久場川児童館「のびのびクラブ」

2年生
3名

テーマ
防災
防犯
交通安全



夏休みに安全マップを作り、私は写真を撮る担当でした。細い道や暗い道は歩かず、学校や児童館の帰りはお友達と一緒に帰っています。今回はたくさんの応募の中から選ばれてびっくりしています。(知念 正奈さん)



夏休みを利用して児童館でマップ作りに取り組みました。子ども達は探検を通し、地域への愛着をより一層深めることができたと思います。地域の皆様、ご協力ありがとうございました。(宮國 智加子さん)

評価されたところ

- 2年生3名で作成したとは思えないほど、良くまとまっている。フラップをめくると説明が出てくる工夫も良い。
- 危険な場所だけでなく、大好きな児童館や地域の特産品など「まちの良いところ」も入っている。「挨拶をして顔を覚えてもらおう」「明るいまちにしたい」などの提言からも、子どもたちの地域への愛着や意欲が伝わってくる。
- 「皆に優しくしてもらった」といった感想からも、まちなか探検の成果が見てとれる。

応募状況

第7回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」には、全国から317校・団体(小学校160、団体157)、1,607作品の応募がありました。※前回の応募は297校・団体(小学校155、団体142)、1,389作品でした。

■応募校・団体一覧(申込順)

青字は、入賞7作品・審査員特別賞8作品・佳作85作品のいずれかに該当のあった小学校・団体です。

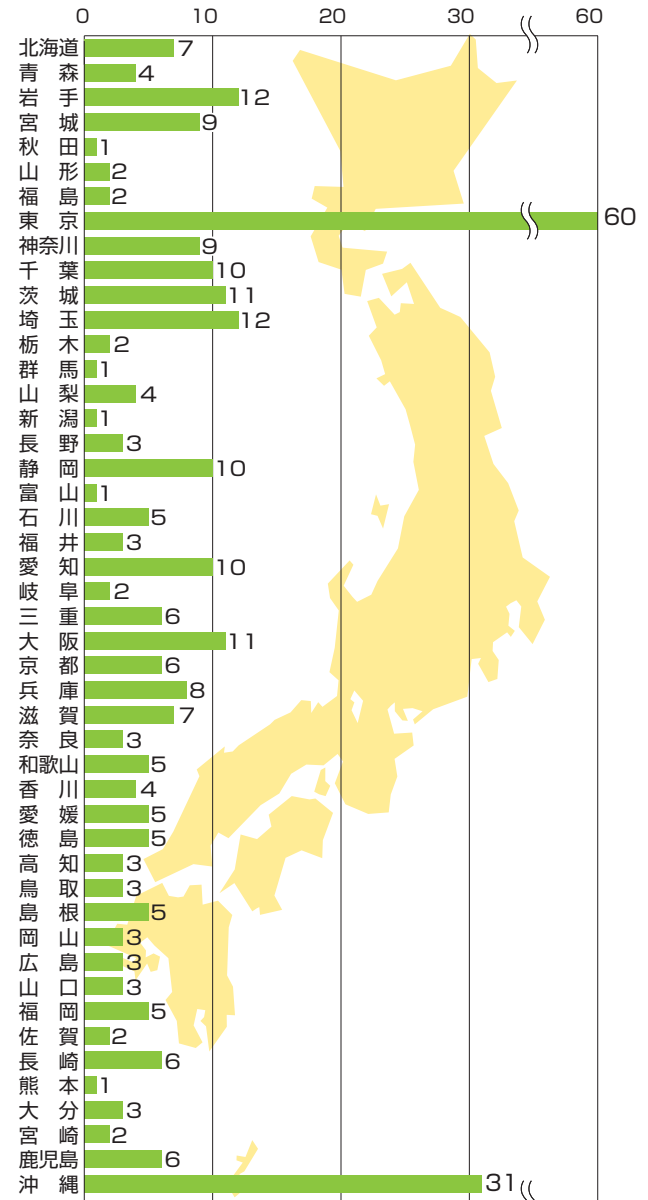
都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
北海道	7	30	札幌市立桑園小学校 / 大樹町立中島小学校 / 訓子府町立居武士小学校 / 2年女子ならいごと / 中標津町立佐佐木中学校5・6年学級 / 別海町立上西春別小学校 / 七飯町立東大沼小学校
青森	4	12	五戸町立姥川小学校 / 平川市立平賀東小学校 / 中南地区探検隊(青森県教育委員会主催「地域の安全を考える親子ワークショップ」参加チーム) / 五戸町立五戸小学校
岩手	12	32	ガールスカウト岩手県第14団 / 舟田2子供会 / 矢巾町立徳田小学校 間野々子供会 / なかよし平田塾 / 坂水少年消防クラブ / 大船渡市立綾里小学校・綾里地区港地城子ども会 / 八幡平市立松野小学校 / 上田三丁目子ども会 / 南仙北2・3丁目子ども会 / 釜石市立釜石小学校 / 紫波町立水分小学校 / 紫波町立彦部小学校
宮城	9	20	通町児童館地域子育て支援クラブ「あおば」 / 美里町立青生小学校 / 東根地区振興協議会 / 仙台市長町南児童館 / 大崎市立三本木小学校防災探検隊 / 気仙沼市立階上公民館 階上ファミリーレンジャー / 大崎市松山地域ぼうさい探検隊 / 学びのコミュニティながまち推進委員会 / 仙台市立東宮城野小学校
秋田	1	1	ボーイスカウト秋田第57団
山形	2	2	ボーイスカウト山形第43団カブスカウト隊・ピーバースカウト隊 / 戸沢村立古口小学校
福島	2	2	相馬市川原町児童センター / 相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ
東京	60	474	調布市立第一小学校 / 江戸川区立上小岩小学校 / 矢口消防少年団 / 江戸川区立第四葛西小学校 / 杉並区立天沼小学校 / 国立市立国立第七小学校 / 江戸川区立第六葛西小学校 / 豊島消防少年団 / 世田谷消防少年団 / 日本橋消防少年団 / 滝野川消防少年団 / 大田区立入新井第二小学校 / 清瀬消防少年団 / 調布消防少年団 / 葛飾区立青戸小学校 / 武蔵野消防少年団 / 板橋消防少年団 / 板橋区立高島第一小学校 / 狛江消防少年団 / 練馬区立南田中小学校 / 練馬区立北町小学校 / 牛込消防少年団 / 立川市立南砂小学校 / 目黒消防少年団 / 青梅消防少年団 / 本田消防少年団 / 秋川消防少年団 / 荏原消防少年団 / 練馬区立大泉学園小学校 / 大田区立洗足池小学校 / 田園調布消防少年団 / 中野消防少年団 / 大田区南蒲田三丁目町会 / 渋谷消防少年団 / 小平市立小平第三小学校 / 江戸川区立西小岩小学校 / 八王子消防少年団 / 国分寺消防少年団 / 昌平一門前仲町 徒歩帰宅訓練隊 / 中野区立新井小学校 / 豊島区立西栗鴨小学校 / 渋谷区立鳩森小学校 / 中野区立塔山小学校 / 目黒区立油面小学校 / 八王子市立栢田小学校 / 府中市立白糸台小学校 / 江東区立東川小学校 / 杉並区立杉並第十小学校 / 京橋消防少年団 / 千代田区立麹町小学校 ワーク・わく・クラブ / 足立区立西新井第一小学校 / 荻窪消防少年団 / 西東京消防少年団 / 新宿区立津久戸小学校 / 板橋区立高島第三小学校 / 城東消防少年団 / 本所消防少年団 / 日野市立日野第六小学校 / 浅草消防少年団 / 板橋区立志村第三小学校
神奈川	9	56	YMCA 東かがわ放課後児童クラブ / ボーイスカウト横浜第124団 / 横浜市保土ヶ谷区岩井町地区青少年指導員連絡協議会 / 横浜市立豊岡小学校 / 横浜市立深谷台小学校 / 厚木市立清水小学校 / 相模原市立富士見小学校 / ガールスカウト神奈川県第53団・第82団 / 和田町タウンマネジメント協議会 地域と子どもプロジェクトチーム
千葉	10	99	市川市立二俣小学校 / 浦安市立南小学校 / 船橋市立習志野台第一小学校 / 市原市立京葉小学校 / ガールスカウト千葉県第3団 / 大網白里町立瑞穂小学校 / 千葉市立さつきが丘東小学校 / 大多喜町立総元小学校 / 長柄町立日吉小学校 / ボーイスカウト船橋第20団カブ隊
茨城	11	37	鉾田市立第一小学校 / 境町立静小学校 / 坂東市立中川小学校 / やちよエコクラブ / 高萩市立東小学校 / 日本キリスト教団勝田教会 教会学校 / 高萩市立秋山小学校 / 東海村立白方小学校 / 八千代町立川西小学校 / 高萩市立君田小学校 仲良し探検隊

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
埼玉	12	103	ボーイスカウト草加第7団 / ガールスカウト埼玉県第59団 / ガールスカウト埼玉県第72団 / ボーイスカウト新座第1団カブ隊 / 加須市立大根東小学校 / 上尾市立上平北小学校 / 草加市立清門小学校 / さいたま市立三橋児童センター / 草加市立小山小学校 / 川越市立川越小学校 / 草加市立新田小学校 / 蓮田市交通安全母の会
栃木	2	2	なんでも探検隊 / 那須塩原市立関谷小学校
群馬	1	3	前橋市立朝倉小学校
山梨	4	13	ボーイスカウト富士吉田第一団ピーバー隊 / 社団法人 甲府青年会議所 / 南アルプス市立八田小学校 / ボーイスカウト河口湖第2回カブ隊
新潟	1	10	新潟市立葛塚小学校
長野	3	19	松本市立岡田小学校 / 安曇野防犯協会連合会 / 長野市立真島小学校
静岡	10	86	南駿河台4支部子供会 / 静岡市立清水興津小学校 / ガールスカウト静岡県第45団 / ガールスカウト静岡県第34団 / 静岡市立清水飯田小学校 / 静岡市立清水三保第二小学校 / 伊東市立大池小学校 / 浜松市立西部台小学校 / 浜松市船越地区少年消防クラブ / ガールスカウト静岡県第89団
富山	1	17	富山市立古里小学校
石川	5	21	材木子ども消防クラブ / 金沢市立浅野町小学校 / 加賀市丸山町子ども消防クラブ / 輪島市立鳳至小学校 / 白山市立湊小学校
福井	3	5	明新地区キッズ探検隊 / あわら市金津小学校 / 越前町立城崎小学校
愛知	10	40	みよし市立天王小学校 / 飛鳥村子ども連絡協議会 / ガールスカウト愛知県第103団 / 則武学区連絡協議会10区子ども会 / 高道町4・5丁目子ども会 / 大府市立共長小学校 / 御園キッズ・ファイヤー・ガード / 豊田市立足助小学校 / 豊橋市立大崎小学校 / 豊田市立五ヶ丘小学校
岐阜	2	4	多治見市社会福祉協議会 母子福祉センターわくわく塾 / ボーイスカウト多治見協議会カブスカウト隊1団
三重	6	18	「かもっこ」放課後子ども教室 / 津市立南立誠小学校 / 四日市市立内部小学校・子ども消防隊・キッズ防災クラブ / 鶴方少年消防クラブ / 船越少年消防クラブ / 鳥羽市安楽島子ども会
大阪	11	49	ボーイスカウト南大阪地区富田林第2団カブスカウト隊 / 清見台自主防災委員会 / 堺市立津久野小学校 / 堺市立浜寺小学校 / 吹田市立桃山台小学校 / ボーイスカウト吹田第12回カブ隊 / 田尻町こども会 / ボーイスカウト八尾第4回カブ隊 / ボーイスカウト藤井寺第4回 / ガールスカウト大阪府第21団 / 岬町立多奈川小学校
京都	6	28	大山崎町鏡田連合自治会 自主防災組織 / 広芝少年消防クラブ / 与謝野町立山田小学校 山田キッズ5 / ライオンズマンション淀リバーサイド自治会自主防災部 / 京都市立桃山山小学校 / 京都市立砂川小学校
兵庫	8	43	姫路市立英賀保小学校 / 美方広域消防本部 BFC 新温泉町立浜西小学校 / 子ども防災クラブ / ボーイスカウト姫路第16回カブスカウト隊 / 富松会 / 三木市立口吉川小学校 / 神戸市立押部谷児童館 / 大観レインボーキッズ2010
滋賀	7	9	顕了寺 日曜学校 / 守山市立立入が丘小学校 学童保育所あめんぼクラブ / 守山市ふけ町ふるさとクラブ / 高島市マキノ町区子供会 / ガールスカウト滋賀県第43団 / 山入子供会 / 草津アローズ



都道府県別の応募状況（学校・団体数）

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
奈良	3	20	財団法人奈良市生涯学習財団 平城公民館 / ポーイスカウト高市第1団ビーバー隊 / 奈良市立清美小学校
和歌山	5	14	すさみ町立周参見小学校 / 広川町立広小学校 / 和歌山市立四箇郷北小学校 / ガールスカウト和歌山県第4団ジュニア部門 / かつらぎ町立 / 町児童館
香川	4	30	丸亀市立城辰小学校 / 坂出市加茂校区子ども会 / 坂出市立王越小学校 / 高松市立前田小学校
愛媛	5	9	宇和島市立蔦淵小学校 / 西条市立徳田小学校 / ガールスカウト愛媛県第14団 / ポーイスカウト新居浜第2団カブ隊 / 愛南町立東海小学校
徳島	5	16	小松島市立芝田小学校 / 美波町立伊座利小学校 / 三好市立佐野小学校 / 石井町立藍畑小学校 / 阿波市立市場小学校
高知	3	4	四万十町立興津小学校 / 香南市立赤岡小学校 / 須崎市立新荘小学校
鳥取	3	18	ガールスカウト鳥取県第3団ブラウニー部門 / 米子市立福米東小学校 / 鳥取市大正地区青少年育成協議会
島根	5	31	八日市地域づくりの会 / 三新塔あきば協議会 子どもの見守り隊 / 地域自主組織 新市いきいき会 / 下熊谷ふれあい会 / 出雲市立高松小学校
岡山	3	3	倉敷市真備町服部小学生少年消防クラブ / 岡山市立桃丘小学校 / 新見市立高尾小学校
広島	3	10	北広島町立鹿原小学校 / 府中町少年少女消防クラブ / 安芸太田町立戸河内小学校
山口	3	7	下関市立豊浦小学校 / 下関市立山の田小学校 / 周南市立中須小学校
福岡	5	41	第東中14区少年消防クラブ / 福岡市立当仁小学校 / 北九州市立広徳小学校 / 北九州市立ひびきが丘小学校3年生 / ガールスカウト福岡県第19団
佐賀	2	5	東山代少年陸上少年消防クラブ / 高砂団地自治会
長崎	6	33	南島原市立深江小学校(南島原市社会福祉協議会主催) / 長崎市立蚊焼小学校 / 佐世保市立白南風小学校 / 真津山小学校区青少年健全育成会 / 長崎市立西山台小学校 / 佐世保市立木風小学校
熊本	1	1	福×2山
大分	3	7	高瀬少年消防クラブ / 吉野育成クラブ / 大分大学教育福祉科学部付属小学校 3年生有志
宮崎	2	13	延岡市立延岡小学校 / 社会福祉法人ゆりかご福祉会 ゆりかごこーろ岡保育園学童クラブ
鹿児島	6	24	奄美市立名瀬小学校3年2組 / 伊仙町立阿権小学校 / 出水市立高尾野小学校 / 薩摩川内市立寄田小学校 / ガールスカウト鹿児島県第11団 / 湧水町吉松少年消防クラブ
沖縄	31	86	浦添市立まちなど児童センター / 糸満市立西崎太陽児童センター / 伊是名村立伊是名小学校 / 那覇市社会福祉協議会金城児童館 / 那覇市立真嘉比小学校 放課後こども教室まかびっくらぶ / 沖縄市あげだ児童館 / 赤道児童センター / 八重瀬町立白川小学校 / 那覇市立高良小学校 / 那覇市久場川児童館 / 浦添市立前田ユブナが丘児童センター / 宮古島市立池間添児児童館 / 北谷町北玉児童館 / 石垣市立野底小学校 / 北谷町宮城児童館 / 沖縄市福祉文化プラザ児童センター / 我如古地域支え合い活動委員会 / 大城子ども育成会 / 浦添市立経塚児童センター / 北谷町立北玉小学校 / 恩名村立嘉瀬武原小中学校 / 木のぼり子供会 / 名護市立源河小学校 / 中頭郡西原町字棚原子ども会 / 曙たんけんたい / 西原町立西原東小学校 / 粟国村立粟国小学校 / 石垣市立大浜小学校 / 糸満がじゅまる児童センター / 宜野座村立漢那小学校 / 糸満市立糸満小学校



「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」において、今回（第7回）応募があり、かつ過去にも応募をいただいた学校・団体名（5回以上）

応募回数	学校・団体名
7回連続	愛知県豊田市立足助小学校
6回	三重県鳥羽市安楽島子ども会 / 福島県相馬市川原町児童センター / 東京都江戸川区立西小岩小学校 / 埼玉県草加市立小山小学校 / 茨城県坂東市立中川小学校 / 埼玉県草加市立新田小学校
5回	長野県松本市立岡田小学校 / ガールスカウト大阪府第21団 / 神奈川県相模原市立富士見小学校 / 東京都江東区立東川小学校 / 愛知県豊田市立五ヶ丘小学校 / 岩手県南仙北2・3丁目子ども会

「ぼうさい探検隊」とは…



子どもたちが楽しみながらまちを探検し、
まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見して
マップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、
発表を通して活動を振り返り、学んだことを皆で共有します。
子どもたちの「安全・安心への意識」が高まるだけでなく、
まさに「地域ぐるみの安全“共育”」が着実に深まり、
コミュニティの強化にもつながります。



万一のときのために — 損害保険 —

火災や事故にあわない、あってもその被害を小さくするための防災の知識を持ち、日ごろから準備をしておくことが大切です。

しかし、万一災害などで自分の住宅などに被害が生じた場合、修理費などが発生します。こうした事故への備えとして損害保険の知識をもち、必要な保険契約をしておくことは、自分や家族の生活を守る大切な備えとなります。

社団法人日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
朝日火災海上保険株式会社
アドリック損害保険株式会社
アニコム損害保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社
SBI損害保険株式会社
共栄火災海上保険株式会社
ジェイアイ傷害火災保険株式会社

セコム損害保険株式会社
セゾン自動車火災保険株式会社
ソニー損害保険株式会社
株式会社損害保険ジャパン
そんぼ24損害保険株式会社
大同火災海上保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
トーア再保険株式会社
日新火災海上保険株式会社

日本興亜損害保険株式会社
日本地震再保険株式会社
日立キャピタル損害保険株式会社
富士火災海上保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
三井ダイレクト損害保険株式会社
明治安田損害保険株式会社

2011年2月現在(会員会社25社50音順)

社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <http://www.sonpo.or.jp/>
(お問い合わせ) 生活サービス部 TEL: 03-3255-1294 FAX: 03-3255-1236



※再生紙を使用しています



かけがえない環境と安心を守るために
(社)日本損害保険協会ISO14001を認証取得しています。